東京都福祉保健財団の今とこれからをお知らせする





今号の 内 容

	平成30年度理事長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
• 3	平成30年度新規事業紹介 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2
•	中期経営方針実施計画を策定しました ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	平成30年度新規採用職員紹介 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4

平成30年度理事長挨拶

当財団は、平成24年に公益法人に移行して以来7年 目を迎えました。今年度は新たに8事業を加え、50事 業を実施いたします。10年前に比べて事業数は1.9倍 になりました。増大する都民の福祉保健医療ニーズに 的確に応えるため、体制の充実を図り、着実に事業を 行ってまいります。

当財団は都庁グループの一員として、事業の大宗は 都からの委託事業、補助事業になりますが、都からの 委託内容等にさまざまな工夫をこらして、事業を効果 的に実施すべく努力しております。また、ケアマネ試 験の実施や出版事業、認定看護管理者養成研修などの 自主事業に積極的に取り組んでいます。

昨年度には初めて中期経営方針を策定しましたが、今年度は具体的な実施計画に基づき、新たな自主事業の展開も含め、さまざまなチャレンジを行っていきます。職員のうち20代が35%、30代が25%と大変若い人が多く、中期経営方針や実施計画の策定にあたっても、経験豊かな職員とこうした若手職員とがタッグを組み、プロジェクトチームなどで横断的に取り組んできました。こうした財団内部での取り組みに加えて、本年度から中堅職員を外部研修に出し、福祉現場での体験を積

む中で肌感覚で福祉の実態を感じ取ってもらいたいと思っています。

財団の強みは、これまでの経験・実績と関係機関の皆様とのネットワークにあります。世界に例をみないほど少子高齢化が急激に進行する中で多様な都民ニーズが生じてもいますが、財団としても



理事長 **雑賀**真

それらを敏感に捉え、積極的に対応してまいります。特に、地域福祉の推進や介護と医療の連携など地域での喫緊の課題、介護人材を始めとする福祉人材の採用・定着・育成という切実な課題、そして都民の主体的な福祉・医療サービス選択のための情報提供などにさらに取り組んでまいります。このため、都との連携を一層強めるとともに、区市町村の皆様、事業者の皆様のご支援を得て、機動力を活かした取り組みを行ってまいりたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成30年度新規事業紹介

当財団は、都民の福祉保健医療の向上と都民本位の開かれた福祉保健医療の実現に寄与することを目的として、様々な事業を実施しています。

公益法人移行後7年目となる今年度は、障害福祉分野の事業を拡大する等8つの事業を新たに立ち上げたほか、既存事業についても一層の充実を図り、福祉保健医療分野全体にわたって全体で50事業を実施します。

今後も、福祉保健医療行政を取り巻く諸課題に積極的に対応していくことにより、東京都の福祉保健医療行政の 充実と都民に対する福祉保健医療サービスの向上に貢献していきます。

>>> 現任障害福祉サービス等職員資格取得 支援事業

障害福祉サービス等を提供する事業者に対して、 福祉の専門職員を配置できるよう現任の職員が介 護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資 格取得のために要する経費の一部を助成します。

>>> 自立支援・介護予防に向けた 地域ケア会議実践者養成研修事業

多職種が連携し、高齢者の自立した日常生活の 支援、介護予防、要介護状態等の軽減を目的とし た地域ケア会議の開催を推進するため、高齢者の 生活課題とその背景にある要因を理解し、尊厳を 保ちつつ、個々の高齢者に合った適切な支援方法 について提案・助言できる人材を養成する研修を 実施します。

>> 介護職員奨学金返済·育成支援事業

常勤介護職員として就職した新卒者等を計画的に育成するとともに、キャリアアップできる環境の確保のため、奨学金貸与を受けた者に対して、返済金相当額を支給する介護保険事業者等に対する助成について、募集や申請受付等を行います。

詳細はHPをご覧ください。

(http://www.fukushizaidan.jp/117shougakukin/index.html)

>>> 障害福祉サービス等事業者に対する 経営管理研修事業

障害福祉サービス事業所等の法人代表者、管理 者及び施設長等に対し、人材マネジメント等の研 修を実施することで、事業所における職員の定着 や資質向上を図ります。

>> 魅力ある職場づくり研修事業

他業種からの転入職員を対象に、介護職場に必要な対人援助技術やコミュニケーション技術等の習得や転入職員が相互交流を行う研修を実施することで、転入職員の不安を低減させるとともに介護職へのやりがいを向上させることにより、魅力ある職場づくりを支援します。

》次世代介護機器の活用支援事業

ロボット技術の応用により、利用者の自立支援 や介護者の負担軽減の効果を有する「次世代介護 機器」について、セミナー等の開催や機器の展示 等を通じて、普及啓発を図っていきます。

障害福祉サービス等指定市町村事務 受託法人事業

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく「指定市町村事務受託法人」として、障害者総合支援 法に規定する質問等事務を行い、区市町村を支援 します。

>>> 東京都障害福祉サービス等職員宿舎 借り上げ支援事業

障害福祉サービス等事業者に対し、福祉・介護職員の宿舎借り上げに要する経費の一部を助成することにより、働きやすい職場環境を実現し福祉・介護人材の確保定着を図るとともに、事業所による防災の取組を計画的に進め、地域の災害福祉拠点として災害時の迅速な対応を推進します。

詳細はHPをご覧ください。

(http://www.fukushizaidan.jp/307shougaishukusha/index.html)

中期経営方針実施計画を策定しました

当財団では、昨年6月に財団経営の方向性を示す中期経営方針を新たに策定しました。中期経営方針では、平成29年度から31年度までに取り組むべき方針として「行政支援機能のさらなる拡充」、「新たな事業領域への挑戦」、「経営基盤の強化」の3点を掲げており、具体的な実施計画についてはワーキンググループを設置して検討を行ってきました。今年度の主な実施計画の内容についてご紹介します。

中期経営方針

都民の福祉・保健・医療の向上への貢献

~専門機能の強化と変化に対する挑戦~

行政支援機能のさらなる拡充

新たな事業領域への挑戦

経営基盤の強化

平成30年度実施計画

障害分野事業の拡大

障害分野における、資格取得支援事業、指定市町村事務受託法人事業、宿舎借り上げ支援事業 を新たに実施します。

財団が持つ情報や資源を活用した自主事業の展開

- ●魅力ある職場づくり研修事業の実施
 - 介護事業所において、介護職へのやりがいを向上させることを目指すため、他業種等からの 転入職員を対象とした研修を新たに実施します。
- 福祉用具の普及推進に向けた取組

区市町村職員等を対象とした見学ツアー、介護支援専門員等を対象とした見学会、施設等従事者を対象にした体験講習会、福祉サービス第三者評価者を対象とした講習会を新たに実施します。

人材育成の強化

福祉現場の実情や課題を理解し、職員自らが課題発見・解決力を向上させるため、職員が現場等で実習を行う新たな研修を導入します。

平成30年度新規採用職員紹介

財団では今年度 11 名の新規採用職員を迎えましたので、 それぞれからご挨拶させていただきます。

財務担当です。財務 は財団全体の運営を円滑に行 うために重要な役割を担っているこ とを、日々身をもって実感していま す。今は目の前の仕事を処理してい くことで精いっぱいですが、早く仕 事の流れをつかみ、財団の一人とし て力になれるように頑張ります。

主に病院などにおける 専門職の研修事業を担当してお ります。福祉分野の全体像を把握す ることで、日々の業務を着実にこな していきたいです。財団の一員とし て、日々精進してまいりますので、 よろしくお願いいたします。

第三者評価の評価者

研修担当となりました。初め て知ることもたくさんありますが、 先輩方に助けられながら、勉強の毎 日です。自分自身も第三者評価に関 する知識を早く身に付け、業務をス ムーズに行えるよう努めていきたい と思っております。

福祉サービス第三者 評価に関する部署に所属してお ります。都民の皆様や事業者の方に とって、より活用しやすい効果的な 制度にするために尽力して参ります。 また、財団内においては、少しでも 周りの方を支えられるように努力い たします。

私は障害者虐待防止 対策支援事業を担当しており、 人材育成のための研修を実施してい ます。初めての社会人で慣れないこと ばかりですが、上司の方や周りの先輩 方に支えていただきながら日々業務に 取り組んでいます。早く一人前になれ るよう精一杯努力して参ります。



指定申請受付等事業の担 当となりました。介護分野に関し て、さらには社会人としても一から始 まった4月でしたが、周囲の方々のご 助力を頂きながら業務にあたる日々を 送っております。積み重ねた学びを 糧にして、少しずつでも業務の幅 が広がるよう努めてまいります。

介護保険事業者

事業者支援部運営 支援室で、利子補給事業 を担当しております。現場意識を 持ち、法人さまへの支援が施設ご利 用者並びに都民の皆さまの豊かな福 祉の実現に寄与することを意識し、 取り組んで参りますので、よろしく お願いいたします。

福ナビの担当に なりました。より多くの 方に財団や福ナビのことを知っ ていただき、適切な人に適切な情報 をお届けできるよう努めたいと思い ます。日々の業務につきましては、 先輩方のアドバイスを受けながら、 つ一つを着実にこなせるよう 頑張ります。

主に介護事業の 指定申請受付を担当しています。 関連知識がほとんどないなか、介護 保険やその中で行えるサービスにつ いて日々勉強と発見の毎日です。今 はまだ覚えることで手いっぱいです が、少しずつ業務の幅を広げ貢献度 をあげていけるよう頑張ります。

ケアマネ研修担当 の岡田奈緒美と申します。中学時代 からガール・ボーイスカウトに入っ ており、「人の役に立つ仕事がした い」と思いから財団に入りました。 福祉に関する知識や経験はほとんど ないですが、精一杯頑張りますの でよろしくお願いいたします。

上記職員の他に、浅井謙太郎さんが福祉人材養成室に着任しています。

ろで Vol.16

平成30年7月発行

編集・発行

柴田

服部

一 公益財団法人東京都福祉保健財団

岡田

〒163-0718 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 ☎03-3344-8511(代) 経営部 経営企画室 ホームページ http://www.fukushizaidan.jp/

小田急第一生命ビル18・19階

東京都福祉保健財団 検索